

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス みらい		
○保護者評価実施期間	2026年2月12日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童24人 (23世帯)	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年3月2日		～ 2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画をもとに、子供たちが将来社会に出た時に必要なスキルを身につけるために、日々の活動プログラムの内容を工夫し、立案・施行・改善を繰り返しながら行っております。	・モニタリングの際には、利用児の学校での困りごとや頑張りたいと思っていることはあるかなど、要望の聞き取りを行い、保護者の方には、学校やご家庭等施設外で過ごしている時のお子さまの様子についてヒアリングをしたり、ご要望を伺っております。	・利用児及びご家族の要望や意向の確認をしニーズを検討し個別支援計画を作成してまいります。小さな目標を細かく設定していくことで、達成感を体験してもらえるように、利用時に応じた支援を徹底して行ってまいります。
2	・子供たちが子供らしくある為にも、自由と責任を教え、小さなコミュニティーの中でも成長していけるように支援していきます。	・自分自身が考えて行動できるような声掛けやアドバイスを意識的に行っております。日々のミーティングや支援後の振り返りを行い、ひとりひとりに対する支援のプラスマイナスをスタッフ間で共有するようにし、より良い支援が出来るように心掛けています。	・職員間で支援の質を高め合い、子供たちが混乱しないように支援の統一化ができるように心がけていきます。
3	・中学生以上の活動プログラムの充実を図っていきます。	・将来社会に出た時に必要なパソコンスキルや計算スキル、細かい作業が行えるような作業プログラム等を作成して実行してもらっております。	・利用児及びご家族の方とのコミュニケーションを図り、お子さまの興味関心を把握します。今後も計画内容や意図に沿ったプログラムを作成するとともに、子供たちが楽しく参加できるようにプログラムの内容を更新していき支援の実施をしていきます。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の支援の質の向上を図るためのない外部による研修等が不十分である。	・内部の研修は行っているが研修がマンネリ化気味である。職員の質の向上を思うと、外部研修への参加も促進したいが、その機会が保障しきれしていない。平日は日々の業務や準備等で時間を使っており、休日での研修など検討していく必要がある。	・職員の興味のある分野を中心に少人数での外部研修参加を促し、情報共有する形を取り入れ職員間での周知に努めていく。 ・オンラインでの研修も積極的に取り入れ、レポートや記録にて継続した質の向上を図っていく。
2	・定期的な保護者交流会の機会を設けられていないこと	・保護者の予定調整が難しく、開催に至っていない。	・保護者の方へニーズチェックを行い、希望に応じて保護者交流会を開催する。 ・オンラインでの開催も検討し、参加しやすい環境を整え
3	・地域の他の子どもたちと交流する機会が少ないこと	・児童館や地域の学童保育クラブなどとの十分な連携が図れていないのと、安全面を考慮したうえで利用者と地域の子どもたちの双方が楽しめるような企画を考えることが難しい。	・児童館・地域の学童保育クラブの方と連携を図り、双方の利用者が安全に楽しめるような企画を考えていく。 ・大きなイベントではなく、施設間での交流などを通して徐々に関係性を構築していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス みらい

公表日 2026年4月 日

利用児童数 24人(23世帯)

回収数 22(96%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1	0	1	中は広々としており子どもたちがのびのび走り回っている姿をよく見かけます。	学習ルーム、活動ルームと分けて活動の場を確保しています。活発な活動が出来るよう支援しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	0	0	2		人員配置基準をもとに人員配置を行っております。また、支援が十分行き届くよう工夫してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	2	1	1	入り口までの階段が少し急のように思う。	出入口の施設、階段の移動では必ず職員同行で、安全の確保、事故防止に努めています。 ・常に整理整頓に努め、活動しやすい空間を提供してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1	0	0		感染症予防対策を徹底して行い、衛生面においても毎日の清掃、アルコール除菌等を行っております。またこまめな換気や空気の入替えを行っております。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1	0	0		事業所内での研修等の充実を図り、より支援の質を向上できるよう努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0	0	0		活動プログラムについては、毎月の行事予定表にて配布しています。適切な支援が出来るよう日々の活動内容など工夫し子どもたちに多くの体験をして頂けるようにしています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	0	0	0		学校や他事業所などからも意見を徴収し、またモニタリングの際にはなるべく保護者の方の意向に沿えるように個別支援内容を作成しております。また必要に応じて支援計画の立案・変更等を行ってまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	0	細かく説明をしていただきました。	適切な支援が行えるように、出来る限り細かく具体的な内容に設定し、スモールステップで目標をクリアできるように、保護者の方にも納得していただける支援目標を心掛けています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1	0	0		より充実した支援が行えるよう、毎日の振り返りやミーティングにて情報共有を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2	0	0	曜日ごとの活動が色々あり楽しんでいるようです。色々な所に連れて行って来て助かっています。	活動プログラムについては、年間スケジュールの選定、毎月の行事予定会議にて検討しています。日々の活動内容など工夫し子どもたちに多くの体験をして頂けるようにしています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	3	8		他事業所との交流も定期的に行っております。また、地域の公共施設などの利用により、一般の方との交流を通して社会性を身に付けて頂いております。
保護者への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	2	0	0	契約の時に説明いただいております。	出来る限り分かりやすく説明するように心がけています。変更等があった場合なども丁寧な説明を行います。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1	1	0	モニタリングの際に分かりやすく説明いただいております。	引き続き面談、モニタリングの際にきちんと説明を心掛けてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2	2	2	家での子供への接し方などアドバイスをいただいております。	プログラムとしてペアレントトレーニングは行っておりませんが、ご相談等ある場合には個別に対応しております。また、保護者会も年に1度行っております。ニーズがあれば開催も増やしていきたいと考えております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	0	1	1	送って頂く際のお話や、LINE等での写真により様子がよく分かります。	送迎時などでのフィードバックは行っておりますが、職員や伝え方による誤認がないように心掛けてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	1	1	分からないことなど親身に相談に乗ってくれています。	支援計画の更新に合わせ、定期的に面談を行っておりますが、それ以外でも何かご相談がある際など、気軽に相談できる環境作りを心掛けてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1	0	0		ご家族やお子様の状況に寄り添った支援が出来るように心掛けてまいります。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	3	1	3	保護者会では同じ悩みを持った保護者からの意見やアドバイスなど聞けて良かったです。	親子参加型のイベントなどは行っていますが、ニーズがあれば今後検討していきたいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	0	0	1	急な変更等いつも快く聞き入れてくれ助かっています。	苦情相談・解決の窓口について周知徹底し、ご相談があった場合は、迅速かつ適切に対応いたします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1	0	0		密接に連携が取れるよう、日ごろからしっかりとコミュニケーションを取ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	2	0	1	LINEで子供の様子が見られて満足しています。	毎月の行事予定表の配布を行っています。またSNSを利用した情報共有も行ってあります。自己評価の結果は洞北福祉会のホームページに記載していますが、その周知に努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1	0	2		秘密保持についての研修を都度行い、小さなことでも漏洩の無いよう、徹底していき、個人情報の取り扱いについて十分に留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3	0	10		各種マニュアルについて、年度初めに保護者様へ周知・説明をさせていただきます。避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	3	0	11		BCPマニュアルを作成し研修等を行ってまいります。また、点検、訓練についての報告書を作成し、周知させていただきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	6		安全計画を策定し、社内で研修を行っております。何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やLINE等で周知しております。引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	2		事故対応について、マニュアルに定め周知しております。事故発生時には迅速かつ適切な対応に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0		お子様が安心して通って頂けるよう、様々な活動プログラムや支援を行えるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	0	0	同年代の子が少ないため、時折物足りなさを感じている様子もある。家でゆっくりしたがる。学校のお友達とも遊びたいと言うことも。	成長と共に友達との時間を大切にすることはいい事だと思いますので、事前に予定を立てて決めていきます。特性に合わせたプログラムと支援で、全てのお子さまが楽しみに通所して頂けるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	0	0	0	楽しみに通わせていただいております。	常に子どもたちが創造力を発揮できるような取り組み、活動を常に考え、将来活かせるような支援を行っていきたく思います。 ・事業所の運営・支援にご満足いただけることを目指し、スタッフ一同尽力いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ホウカゴトウデイサービス みらい			公表日		2026年4月 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		環境整備 安全点検	学習ルームとプレイルームで活動の場を分け、整理整頓を心掛け広いスペースを確保しています。また安全面の強化を行い怪我等の防止に努めています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		資格要件を満たす 配置	十分な職員の配置を行い、利用者のニーズに応えやすい体制をとってはいるが、更なる強化のため人員増加は行っていきたい。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		安全の確保 環境整備	事業所入口までのへの階段はあるものの室内はバリアフリー化はできている。事業所にあがる階段は必ず職員見守りの下移動を行っています。また常時施錠を徹底しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		朝礼 議事録 ミーティング	毎日の清掃、除菌等を行い日々快適な空間作りを心掛けています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		環境整備	完全隔離した静観したスペースの確保が不十分なため、落ち着いた環境で過ごしたい子どもたちのための環境整備を行っていきます。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼 議事録 ミーティング	朝礼や議事録で日々情報共有を行うと共に、月に数回全職員参加でのミーティングを実施しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	会議 周知	行ってはいるが不十分な面があるため、統計化したデータ及び保護者様からの意向を共有し改善につなげていきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	会議 研修の計画	日々の会議の中で意見交換は行っているが、改善できていない面もあるため、今後は徹底して改善に努めていく。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		適性	外部評価は定期的ではないが行い、評価結果に基づき業務改善に努めています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○	研修の計画、実施	内部研修等は行っているが不十分である。年間計画を基に外部研修等も積極的に取り組んでいく。			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		個別支援計画立案・再考				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		会議 周知 個別支援計画立案・再考	定期的、また必要な際に保護者との面談を行い、関係機関からの情報を共有しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		会議 周知 個別支援計画立案・再考	課題や反省を活かし、事前にミーティングで話し合いを行い、見直しを立てて支援していく。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	会議 議事録 支援記録	標準化されたアセスメントツールを十分に活用できていないため、今後は積極的に活用していく。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		会議 周知 個別支援計画立案・再考	・モニタリングや面談の際には、関係各所から情報収集を行い、支援計画を細かく制定していく。必要な項目が制定されているかは、個別支援会議にて意見交換を行い最適な支援内容を構築していく。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		会議 周知 個別支援計画立案・再考				

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		創作、余暇 自立支援活動	モニタリングの結果を議事録作成し、会議にて共有し、支援の見直しについて判断しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		創作、余暇 自立支援活動	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		会議 議事録 支援記録	精通したものが参画出来ない場合も、その子どもの状況が把握できるよう、ケース記録を作成して共有しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		会議 議事録 支援記録	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		会議 議事録 支援記録	業務日報と支援記録を使用して記録に誤りがないか確認すると共に、その内容を共有して検証・改善につなげています。個別支援計画を基に支援が出来ているかなど、記録の際必ず確認を行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリング記録 個別支援計画	相談員やご家族と連携を密にし、利用児の状況に合わせた情報共有を定期的に行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		個別支援計画	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		創作、余暇 自立支援活動	子供の意見を積極的に聞き、目標設定を行ったうえで、自己選択を行えるよう支援しています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議 議事録 情報収集 情報交換	精通したものが参画出来ない場合も、その子どもの状況が把握できるよう、ケース記録を作成して共有しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	連携 情報共有	医療機関に関しては該当児童がいなかったため積極的に連携を強化してはいませんが、その他教育機関や障害福祉等の連携は行っております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		連携 情報共有	FAXや送迎時の予定表のやり取りを通し、情報共有、連絡調整に努めています。独自の利用計画表を基に数人で漏れないように確かめています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		アセスメントシート フェイスシート	相談員やご家族と連携を密にし、新1年生受入れ時には、利用者の進学に合わせて情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	連携 情報共有 継続支援	今まで該当児童はいませんでした。移行支援、継続支援の観点より情報共有を行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	連携 情報共有 研修の計画	積極的な連携は図っておりません。必要に応じて連携していけたらと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		研修 情報収集	他事業所との交流など定期的に行っています。公共施設などの利用により社会性を身に付ける機会を作っています。児童館などの利用も検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	研修 情報収集	現状行っていないため、今後は積極的に参加していきたいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		モニタリング記録 個別支援計画	毎月、行事予定表や日々の活動記録を作成し配布しています。また送迎時やLINEにて報告を徹底しております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	研修 情報収集 モニタリング	ペアレントトレーニング等は行っていませんが、適時、電話やLINEなどで情報共有を行い、気軽に相談いただける環境づくりを心がけています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		連絡・共有	入所時、改訂時に行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング LINE 情報共有	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		連絡・情報共有	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡・情報共有	ペアレントトレーニング等はありませんが、適時、電話やLINEなどで情報共有を行い、気軽に相談いただける環境づくりを心がけています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		親子参加行事 保護者会	親子参加行事や懇談会を開催しております。今後、も年に数回皆さんが情報共有できる場を提供していきます。保護者同士の連携やきょうだい同士までは支援できていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談・解決窓口の 設置と周知	苦情相談及び解決の窓口について周知し、苦情があった場合には迅速かつ適切に対応しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		みらい通信 連絡・情報共有	毎月のみらい通信を通して行事の活動報告等を行い、日々の活動内容に関してはLINE等を活用し情報共有を図っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		研修 秘密保持誓約書	個人情報保護についての研修を行い、漏洩しないよう周知徹底しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		秘密保持	障害の程度、特性に合わせた伝え方を選択し、配慮しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域交流・参加	地域交流等は行ってはませんが、イベントを通して積極的に関わられるようにしていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		委員会設置 定期的な会議 研修	各種マニュアルの周知を図るとともに定期的な訓練・研修を行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		委員会設置 定期的な会議 研修	BCPマニュアルに沿って防災・避難訓練を行い、記録を残しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		情報収集 周知	ご家族からの情報収集を徹底し、医療記録やお薬手帳などの共有を職員間でも徹底していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アセスメントシート フェイスシート 情報共有	アセスメント時にアレルギー情報を聞き取り、職員間で共有、対応を徹底しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		委員会設置 定期的な会議 研修	安全面に配慮した環境で子供たちが過ごしていけるよう、計画的に安全管理を徹底していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		委員会設置 定期的な会議 研修 情報共有	マニュアルに沿って取り組んでおり職員への周知はできています。今後は保護者への周知を徹底していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書	報告書を作成し、再発防止のため共有のうえ、今後の対応を協議しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修 情報収集 情報共有	内部研修で情報共有しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	身体拘束廃止に 関する方針と記録	現在対象者なし。マニュアル作成済み。対象者受入れ時は事前説明を行い、計画に記載します。	